

佐倉市・酒々井町 選出
千葉県議会議員

市民ネットワーク

県議会レポート
2020年8月25日発行

連絡先 市民ネットワーク千葉県
〒260-0013
千葉市中央区中央 4-10-11 アイビル4F
電話・FAX 043-201-1051
mail info@chiba-kennet.com

ブログ 伊藤としこのひとりごと 

めざせ！
世田谷モデル

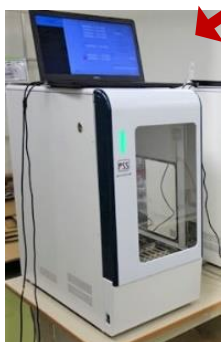
8/8

オンライン学習会を開催しました

新型コロナウイルス 保坂区長の挑戦

世田谷区では今、1日360件のPCR検査を行っています。保坂展人区長は1日3000件まで増やす計画です。学校や保育園、病院や福祉施設などで一斉検査し無症状の人を捉え、感染拡大を防ぎます。

全自動PCR検査機は一度に大量の検体が測れます。1台1200万円。アベノマスクにかけた費用500億円で4000台も購入できます。



千葉県は20台導入予定。もっと増やすべきです。



保坂展人
世田谷区長

コロナを封じ込めたニューヨーク市

ニューヨーク市はピーク時に、1日の死者が800人も出ていましたが、いつでも、どこでも、誰でも、何度でもPCR検査を無料でやった結果、今はほぼ抑え込むことができました。世田谷区でもPCR検査を徹底します。

技術は日進月歩

◆検体は、これまで鼻咽頭（鼻の奥）に綿棒を入れて採取していましたが、唾液や鼻の穴をぬぐう方式を採用し検体数を一気に増やす！

◆プール方式⇒5人分の検体を混ぜて一度に検査。陽性反応が出たら、改めて、1人ずつ検査する。数がこなせます。

世田谷区 他にもこんな取組みが！

感染症アドバイザー（医師）の派遣

社会福祉施設へ派遣し、クラスター防止対策を進め、休業や事業再開の可否判断をアドバイスします。

保健所の負担を軽減

濃厚接触者を追跡するコンタクトトレーサーという仕事を外部委託する。

電話相談窓口には看護師経験者

不安な思いで電話をかけてくる市民に、看護師経験者が的確な判断で対応。

感染症対策を徹底させることが、経済の再生への一番の近道です！



要望項目

1. 電話相談窓口（コールセンター）の回線を増やし、高い電話料金（20秒10円）を解消して無料にすること。
2. PCR検査数を大幅に増やすために、全自動PCR検査装置を各健康福祉センターに導入すること。
3. 発症してから9日以内の者には、自宅で検体採取できる唾液を用いたPCR検査を実施すること。
4. 集団感染の危険性が高く、密にならざるを得ない病院や福祉施設の一斉PCR検査を実施すること。
5. 業務量が激増した健康福祉センターの人員と予算を、至急拡充すること。
6. 感染拡大防止のため、いつでも、だれでも、無料でPCR・抗体検査が受けられる体制づくりに努めること。

今、発熱しても県のコールセンターには電話がなかなかつながらず、PCR検査も濃厚接触者でないと受けられません。感染が拡大する中、至急改善する必要があります。

8/3

県に緊急要望書を提出しました

PCR検査を増やして！

いつでも
だれでも
無料で！

新型コロナウイルスから
命と暮らしを守る！



コロナ禍で広がる貧困 暮らしの緊急相談会を開いています！

新型コロナ禍で仕事や住まいを失う人が急増しています。

4月、ネットカフェ難民の救済策を県に要望したことがきっかけで、県内の支援団体と共に「反貧困ささえあい千葉」を立ち上げ、5月から毎月「市民ネットワーク・ふなばし」の事務所で生活相談会を開いています。

県議会の質問でも「生活保護」を取り上げ、また現場に出て困窮者支援に取り組んでいます。お困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。



飛沫感染予防シート越しに相談者と。



5月3～5日、6月23日、7月23日、8月23日と相談会を続けています。弁護士や司法書士、社労士、議員も入り、生活保護などいろんな相談に応じています。



フードバンクちばやパルシステムから提供された食料品をお渡ししています。

次回相談会
9月27日（日）13:00～17:00